

# 昨年の熱中症による救急搬送人員の状況

フリップ①

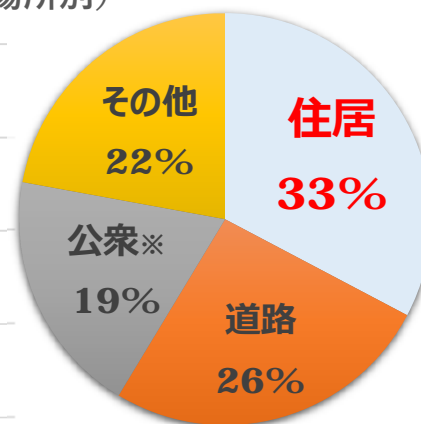
- ◆ 例年、7月以降に熱中症による救急搬送人員数が増加。昨年7月の搬送人員数は、6月の約4倍。
- ◆ 屋外だけでなく、住居でも発症（約3割）。特に高齢者の割合が高く（約5割）、注意が必要。
- ◆ 外出自粛期間が終了し、マスクの着用など「新しい生活様式」を踏まえた行動が求められる中で、既に気温が高い日が続いていることから、今から熱中症に気をつけることが重要。

## 搬送人員数（2019年度）

(人) 総人員数：5,182人

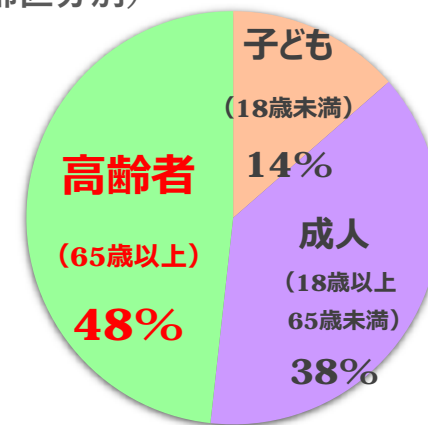


(場所別)



※公衆：不特定者が出入りする場所  
(飲食店、野外コンサート会場、駅など)

(年齢区分別)



マスクの着用により、熱中症のリスクがさらに高くなるおそれ。

# 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

フリップ②

- ◆ 暑さ対策については、暑さをしのぐ「クーラーの利用」、暑さを知らせる「情報の活用」、暑さにつよい「からだづくり」という3つの習慣の周知啓発等に取り組んできた。
- ◆ 今夏は、感染予防のため、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避けるなどの「新しい生活様式」を踏まえた熱中症予防行動が重要。
- ◆ ポイントとなる行動は以下のとおり。

## ❗ 冷房時でも換気を確保する

- ▶ 冷房時には、感染予防のために換気を確保しつつ、温度設定をこまめに調整。

《大阪府庁の取組み》

大阪府庁では、適切な室温を保つため、今年度は設定温度26℃を目安に冷房を行う。



## ❗ 適宜マスクをはずす

- ▶ 気温や湿度が高い中でマスクの着用は要注意。
- ▶ 屋外で人と十分な距離が確保できる場合は、マスクをはずす。

## ❗ こまめに水分補給

- ▶ のどが渇く前に水分補給。

## ❗ 日頃から健康管理

- ▶ 日頃からの体温測定、健康チェック。

## ❗ 暑さに備えた体作り

- ▶ 暑くなり始めの時期から適度に運動を。



※特に、熱中症になりやすい高齢者、子ども、障がい者の方々は、より注意する必要があります。  
周囲の方からも積極的な声掛けをお願いします。

大阪府 熱中症

検索

# 大阪府と日産大阪販売株式会社との包括連携協定の締結

フリップ③

## ◆本日、日産大阪販売株式会社との包括連携協定締結式を行います

大阪府が進める安全・安心や環境、子ども・福祉への取組みなど、6分野にわたる連携と協働を一層促進させるため、包括連携協定を締結します。

- ・日時：令和2年6月10日（水） 16時05分～
- ・場所：大阪府公館 大サロン
- ・出席者：日産大阪販売株式会社  
代表取締役社長 白土 貴久 氏  
大阪府知事 吉村 洋文



## EV(電気自動車)等を活用した協力

### ① 災害時の電力供給支援

- ・ 災害発生時に、EV車両とパワームーバー（給電器）を府内の避難所へ貸与し、避難所の電力供給に協力



### ② 大阪府災害派遣福祉チーム(DWAT)派遣への協力

- ・ 災害発生時にEV車両を貸与し、DWATの活動を支援

## EVの府政への活用

- ・ 府の公用車として、協定締結に先行し、EV車両（e-NV200）を寄贈いただいた。
  - ・ **新型コロナウイルス感染症対応での物資輸送に活用**
- 今後、府政のPR等に活用



## 店舗やFMを活用した府政のPR

- ・ 店舗でのポスター掲示や、店舗サイネージでの府政の動画放映や、ラジオ番組を通じた府政情報の発信

